

2022

同友しずおか

7

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった！」

VOL.524

AmiraiZ

私の逸品

AmiraiZ

建物調査業を行うドローン
～その向こうにあるのは子どもたちの
未来の創造～

配達ありがとうございます
在宅中でも宅配BOXをご使用ください



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒424-0857 静岡県東区御幸町1-1-106 FAX/054-255-7620 E-mail/kyouka@tdou.or.jp

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

2025年ビジョンの実践

【第13回】

地域に誇れる会社に成長するために

「2025年ビジョンの実践」では、ビジョンプロジェクトメンバーが静岡同友会2025年ビジョンを自社の未来と重ね合わせ、いかに実践していくかをコラム形式で毎月掲載していきます。

コロナウイルス感染症の拡大以降、社会構造や経済構造が大きく変わるなか、弊社でも経営環境の変化に対応するため社員の多能工化、業務のIT・DX化に取り組んできました。また、今後は脱炭素社会に対応した設備への更新も考えています。私たちを取り巻く経営環境の変化の速度はさらに速く、変化の幅はさらに大きくなっていくでしょう。その時に今まで以上に重要になっていくのは「ビジョン」だと感じています。明確なビジョンを持っていなければ変化の速度と幅に対応できなくなると思うからです。

同友会のビジョンは「企業づくり」「地域づくり」「同友会づくり」の三つが掲げられています。社員が成長と喜びを実感できる会社づくり、その為には堅固な地域基盤も必要で、その地域づくりには同友会の学びを実践する仲間が必要になります。ビジョンプロジェクトに参加して以降、この三つのビジョンを自社に落とし込み、自社と地域の将来像に向け「実践」を心掛けてきました。冒頭に述べた多能工化やIT・DX化もその一つです。牧之原市円卓会議や中学校評議会でも発言する機会に恵まれております。

先日、憲章条例学習会で講演いただいた森俊彦氏を榛南支部例会にお招きしました。講演と二日目に行われた森塾で学んだ「ローカルベンチマーク」と「経営デザインシート」で、より明確により具体性をもって自社の将来像を描けるようになってきました。地域に誇れる会社に成長することを夢見て日々実践に努めようと思います。

今野 英明氏（光誠工業(株)・榛南支部）



建物調査業を行うドローン ~その向こうにあるのは 子どもたちの未来の創造~

AmiraiZ (富士宮支部)

代表 三木 綾美氏



三木綾美氏 (中央) と取材陣

富士市を拠点に、ドローン×赤外線カメラを使用した建物調査業を行うAmiraiZ(アマライズ)代表の三木綾美氏を訪問しました。取材では実際にドローンを操縦する姿も見せてくれた三木氏。その活動の根底にあるのは「母親の見本として」という想いでした。

子育てと仕事の両立を模索

三木氏は様々な社会人経験をを経て、29〜36歳の間、足場会社の営業として頑張ってきましたが、離婚を機に退職。その後営

業の仕事に就いたものの「子育てと仕事の両立を」と、再び様々な道を模索します。

そんな中、知人の建設会社の経営者から、SNSの運用代行の依頼を受けました。「自宅で子どもを見ながらでもできる!」と引き受けたところ、評価も上々に。そんな三木氏に先方から「ドローン事業部を立ち上げたいので協力してほしい」という新たな依頼が舞い込みます。ドローンの操縦経験は無かった同氏ですが、新たな分野にチャレンジすることを決めま



ドローン操縦する三木氏



赤外線カメラで温度を可視化

す。先方の支援も受けて、ドローンで耐震や雨漏り調査などの建物調査を行う会社AmiraiZを2020年1月に設立。社名には「A」と「Z」の間に「未来」という単語を入れ、AからZまで、つまり「全て」の「未来」のために、という想いを込めたそうです。

同友会に入会したきっかけは、独立してまもなくの頃に「経営を学べて仲間も増える良い会だよ」と河原崎哲哉氏(シンコーラミ工業(株)・富士宮支部)の誘いを受けたことでした。入会してからは、例会等に積極的に参加し経営者としての勉強を進めており、今年度は全県経営フォーラムの実行委員としても活躍しています。

子どもたちの未来を創りたい

いずれ法人化して社員を登用したり、ドローンや調査業を行えるスクールを作っていきたいと夢を語る三木氏。現在、地域の子どもたちに向けてドローン体験や講習等の地域貢献活動も行っていると言います。三木氏がお子さんに見せる「頑張る母の姿」、そして地域の子ども達に好奇心を持って新たな体験をしてほしいという「未来を創っていく活動」こそが、本当の逸品なのかもしれないと感じました。

取材・記事：田邊 元裕氏

(株)カボス・富士宮支部

取材：望月 知洋氏

(エムスタイル・富士宮支部)

AmiraiZ

〒417-0801 富士市大淵150-36

TEL : 0545-67-0971

設立 2020年

入会年月 2020年2月

事業内容 ドローンによる建物調査

暮らしの夢をかなえる創造空間「e s o r a」

エコフィールド(株)
常務取締役 強矢 大輔氏 (富士支部)



強矢大輔氏 (左から2番目) と取材陣

夢を描き、交流を育む創造空間
富士市中里にある、エコフィールド(株)を訪れました。元々スーパーの店舗だった建物をリノベーション(大改修)してできた本社

です。一階はおしゃれなレストラン、二階にショールーム&事務所があります。名前を創造空間「e s o r a」といい、絵空事+E C O+太陽光(solar)という意味が込められています。その佇



スーパーをリノベーションした本社

まいを見れば、「住まい以外の皆さんの想いを『暮らしの夢』として叶えてゆきたい」という社長の想いが伝わります。
父の強矢到氏が創業した住宅設備・新築建築事業の会社に息子の強矢大輔氏が参加したのがちょうど10年前、首都圏の建築設計事務所から移籍して2代目として入社しました。もともと性格が飽きっぽいので、一つとして同じ仕事がなく飽きない建設業に入ったと強矢氏。「一生できる仕事だと思った」と話します。
入社以来、その性格を活かしていろいろ創造している強矢氏。カルチャー講座開設、年4回マルシェ開催、アート作品展示、音楽ライブ、ウエディングパーティー、無農薬野菜の栽培、空き地・空き家の管理代行など、青空いっぱい夢を描き、さまざまな人たちの出会いと交流を育んでいます。

コロナの影響に立ち向かう！

そんな同社ですが、コロナの影響は避けられませんでした。仕入れ価格の高騰や、材料部品の供給不足などです。ところが逆境に負



一階レストランでオシャレなランチ

けず、ここぞとばかりに攻めに転じます！

「人にも地球にも優しく暮らす」という新コンセプトを立ち上げ、太陽光パネル、長寿命塗り壁、薪ストーブ、耐震等級、雨水タンクを用いた環境にやさしい家づくりに取り組んでいます。また、夏涼しく冬暖かい「Air 断工法」、無垢の木やホタテ塗り壁など天然&自然素材を用いた家などエコで心地よい暮らしを提案していくと語ります。新コンセプトのモデルハウスオープンに向けて、強矢氏は休まることを知りません！

『もっとエコ化！』の精神で！

経営理念に「エコフィールド株式会社は、住生活産業を通じて『もっとエコ化！』の推進で、世



目指すは『地域貢献ナンバーワン企業』

エコフィールド(株)

〒417-0826 富士市中里2591-10

TEL : 0545-32-1185

URL : <http://ecofield.jp>

創業 1995年

社員数 15名

入会年月 2021年4月

事業内容 新築・リノベーション、増改築(耐震診断・補強)、エクステリア・造園工事、不動産、各種リフォーム

取材・記事：佐藤 義幸氏 (松本工業(株) 富士支部)

取材：加藤 登久氏 (株)フアクトシステム・富士支部
堀田 久美氏 (合同会社 asterisk 株)

(合同会社 asterisk 株) 支援助産所/富士支部

会員訪問記

ディーラーを超えたサービスの提供

沼津三菱自動車販売(株)
代表取締役 齊藤 周氏 (沼津支部)



齊藤周氏 (中央) と取材陣

コーティングサービス
Gran Worksを立ち上げ

沼津市で自動車新車販売や各社中古車販売、車検・点検や整備を行う沼津三菱自動車販売(株)を訪問、

代表取締役の齊藤周氏に同社で開始した新サービスについて伺いました。

2022年6月に新サービスとして沼津市と伊東市でコーティングサービスを開始した齊藤氏。



一新したディーラー室内

サービス名の「Gran Works」は「質の良い仕事を通してお客様に喜んでもらいたい」という想いから名付けられました。専用のコーティングスペースを持ち、資格を持った専門スタッフが作業を行うことで質の高いサービスを提供できることが強みです。このような専門スタッフによるサービスを提供しているディーラーは県内でも珍しい存在。三菱の自動車だけでなく他メーカーの自動車も受け入れ、顧客層を広げることが狙いだと氏は語ります。

新サービスを開始するにあたってディーラー室内の内装も一新。あえて三菱自動車のカラーを前面に出さず、カフェをコンセプトとしたナチュラルな雰囲気になりリニューアルしました。女性のお客様も入りやすくリラックスできるように自然を多く取り入れ、またお子様の様子がどこからでも見えるように中央にキッズスペースを設けています。



「Gran Works」コーティングスペース

今回の建築工事は同じ沼津支部の会員企業Build Eastが設計・施工。何度も打ち合わせを重ね具現化したものだと話してくれました。リニューアルオープンのイベントには300人もの来場があり、飲食ブースやミニゲームを通して子どもから大人まで盛り上がりました。

同友会での学びを積極的に
自社へフィードバック

2015年に入会し、以降ずっと組織共育委員会所属で副委員長を2年、委員長を2年務めた同氏。「同友会での学びは多いが、基本的には価値を見出せるかどうか、自社に活かせるかはすべて自分次第と考えている。今後も積極的に参加し自社へフィードバックをしていく」と同友会での学びに対する姿勢を語りました。

地域への貢献

新サービスについて、予約は

沼津三菱自動車販売(株)

〒410-0874 沼津市松長913
TEL : 055-967-2133
URL : <https://numazu-mitsubishi.co.jp/>
設立 1978年
社員数 43名
入会年月 2015年1月
事業内容 三菱自動車新車販売、各社中古車販売、車検・点検・一般整備、板金塗装、カーコーティング・磨き(Gran Works)、自動車部品・用品・油脂類販売、自動車損害保険代理業

取材・記事：太田 喜貴氏
(株)キラガ・沼津支部
取材：滝川 浩氏
(肩こり腰つう倶楽部・沼津支部)

入ってきているものの、開始して間もないこともありまだ十分に告知ができていないと感じているところで、WEBでPRしていく準備を進めていると言います。また今後、外に人工芝を引く予定であり、そこをイベントスペースとして活用していきたいと考えているそうです。

理念にそってGran Worksで高品質なサービスを提供し、静岡側からでも沼津側からでもアクセスしやすい立地を活用してお客様を広げるなど、地域のお客様に貢献できるよう着々と前進している同社の今後が楽しみです。

中小企業憲章・条例推進月間 中小企業魅力発信月間キックオフ行事開催

開催・YouTubeライブ配信 6月3日(金)

本行事は中同協が取り組んできた中小企業憲章・条例推進月間キックオフと中小企業魅力発信月間キックオフを併せた企画として三部構成で開催され、全体で459名が参加しました。第1部は広浜泰久中同協会長の挨拶から始まり、来賓3名より挨拶がありました。その後、植田浩史氏(中同協企業環境研究センター座長・慶応義塾大学経済学部教授)より基調講演。続く第2部では会員経営者3名による実践報告があり、第3部では国会各政党、中小企業団体、労働団体からコメントがありました。当日の映像とダイジェスト動画は中同協公式YouTubeからご覧いただけます。以下、参加者からの感想をご紹介します。

我々中小企業は、地域や社会に根差し雇用の担い手としても地域経済の主体者としても間違いなく社会を支える存在です。規模の大小だけで「中小企業だからレベルが低い」というイメージを払拭する為にも、同友会の会員企業が率先し学びと実践を通じて良い会社経営を更に進めていく必要があります。またその中で、地域の市民への理解を深め、行政や金融機関からも信頼され頼りにされる存在となっていかなければなりません。その先に、真に中小企業が地域や社会を支え、持続可能な地域社会の担い手として中小企業が社会から大切にされる未来があるのだと確信しています。

穂坂勝彦氏(富士宮清掃(有)・富士宮支部)

中小企業憲章・条例推進月間、中小企業魅力発信月間キックオフ行事の動画は下記QRコードよりご覧いただけます。
もしくは「中小企業家同友会全国協議会チャンネル」で検索！

第1部・第2部の動画

まとめ動画(約10分)



広浜 泰久会長



記念講演の様子

第25回女性経営者 全国交流会 in 島根

6月16日から17日の2日間にわたって第25回女性経営者全国交流会が島根同友会の設営にて開催され、全国から566名、静岡から8名が参加しました。参加した2名の会員より頂いた感想をご紹介します！

参加者感想

「苦しみながら、何度も脱皮し、挑戦する強さの源泉は、母性と経営者魂だった」

同友会入会4年半にして、初めて全国行事に参加しました。分科会で寺島楨律奈氏(株アウム・東京同友会)の報告を聞き、感じたのは、何度となく訪れた危機に果敢

に挑み、乗り越えて来た強さの源泉がどこにあるのか?でした。「倒産・死」と隣合わせに生きながら、超えた大きな危機は6回。タイムトルに「脱皮」とあるように、危機の兆しを数字と肌で感じとる嗅覚の鋭さと、そこから次のビジネスの芽をキャッチして脱皮する行動力は、目を見張るスピード感でした。「アウムは自分の子供」「長く頑張ってくれた社員と会社を守りたい」という母性を感じる言葉と、「今の事業は必ず衰退する」「常に、変化・挑戦しなければ、そもそも生き残れない」「事業領域を拡張しなければ、成長は有り得ない」という強いメッセージが、寺島氏の強さの源泉だと感じました。

松下 純子氏(フレゼンス・榛南支部)

「固定概念からの脱却、ちがいを生かす経営」昨年同友会に入会して、初めて全国大会に参加しました。島根女性部会の歴代部会長による報告の中で、女性部会の活動を通しての自分自身の成長から、自社の社員との関わり方が変わっていったというお話がありました。同友会活動を通して様々な視点を養い、社員との接し方によって会社が変わっていく。今後活動に積極的に参加し、広い視野で物事を捉えられるようになりたいと思います。私は、代表ではない取締役として何をすべきかを日々考えていました。しかし、肩書きではない「人」としての成長が自社の成長に繋がるのだと感じました。今回参加して、固定概念をなくし、異なる価値観や違いを受け入れることを学びました。入会して間もなく、不安でいっぱい私の温かく受け入れてくださった全国の仲間や、静岡同友会の先輩に感謝し、恩送りができる人になろうと決意しました。

鈴木友蘭氏(株東海医療器械・沼津支部)

第19期経営指針を創る会が開講

経営者としての覚悟を胸に10名の受講生が集う

6月11日(土)～12日(日) 静岡駅前会議室 L1-NK

受講生の感想と今後の目標

第19期経営指針を創る会が開講、第1講は一泊研修で行いました。経営指針を成文化する場として今回は10名の受講生が参加しています。一日目は修了生2名より「経営指針作成後の実践」について語り、経営労働委員長の増田崇氏(南リアス・榛南支部)から経営指針書の数値計画について説明。バズセッションでは「知り合う」をテーマに受講生とスタッフが互いに自社事業や経営課題について話し合いました。二日目は、中川泰典氏(遠州工機㈱・榛南支部)より書籍『人を生かす経営 中小企業における労使関係の見解』の重要なポイントを報告、その後グループごとに「経営者の責任、社員とどう向き合うか?」をテーマに議論を深めました。



吉川 雅利氏

私は労働者から経営者になったため労働者の延長的な考え方が強く、会社の売上などは分かりませんが経営者が何を考えて、実際は何をすべきなのか、はつきりとしたものが見えていないのが現状です。今回経営指針を創る会の第1講に参加して、会社のプロフィールや労使関係の見解に触れました。自社の現在の状況の他に、参加者の置かれている状況や業種の違いによる苦労を垣間見ることができました。その中で自社に足りないモノや不安な点を拾い上げ、これからの講義を続けていく

ベースとして心に留めて置きたいと思えます。そしてこれから自社の事業定義や環境分析、お客様の求めているものを見つめ直し、会社の進むべき目標をしっかりと定め、経営者としての自覚と覚悟を決めていきたいと思えます。一人で考えるだけでは違った視点からの見方が出来ない為、多くのスタッフの方の貴重な意見を頂き、自分との考え方の違いや気付きを大事にして、経営指針の作成・見直しをしていきたいと思えます。 吉川 雅利氏(岩堀電設㈱・榛南支部)

ビジネスマナー&コミュニケーション研修

「信頼される社員」の基本を学ぶ

共育委員会主催のビジネスマナー&コミュニケーション研修を男女共同参画センターあざれあにて開催しました。若手社員

のほかにも学びなおしを目的とする幅広い年代の社員が参加、会員企業14社より21名が受講しました。冒頭に野川和三共育委員長(㈱野川商店・榛南支部)より「今日は会社を超えて様々な方が参加しています。ぜひ色々な人の考え方から学び、自身の成長の糧にしてください」と挨拶しました。研修の最初には鈴木雅夫氏(香港静雅有限公司・榛南支部)による発声練習を行い、元気で明るい挨拶で気を引き締めてスタートしました。須山由佳子氏(㈱キャリア・アップ・浜松支部)による研修の午前の部では自己紹介・他己紹介のワーク、聞き方体験を通して、教わり上手になる話の「聞き方」を学びました。また、コミュニケーションについてグループで意見交換、人間関係を良好にし業務を円滑に進めるために、業務以外の会話も増やすことが大切だとまとめました。午後はケーススタディから「報告・連絡・相談」の重要性を学び、須山講師より「よい報連相からよい人間関係が生まれ、ミス防止、会社の利益確保にも繋がる」と伝えられました。

閉会挨拶では高木基氏(㈱バリユー・エージェント・三島支部)より「今日出会った仲間とぜひ交流を育み、学んだことを明日

から早速実践しましょう」と伝えました。研修後に参加者より「元氣な返事と挨拶はすぐ実践しようと思った」「終了時だけでなく中間報告することを心掛けていきたい」「会社の人と信頼関係を築けるようコミュニケーションを大切にしたい」などの感想が寄せられました。

10月18日(火)に静岡県総合社会福祉会館シズウェル(静岡市内)にて、社会人としてのスキル向上や基礎の復習を行う「若手社員フォローアップ研修」を開催予定です。ぜひご参加ください!



7月 17日(日)	榛南例会 (14:00 浜岡グランドボウル)
20日(水)	沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ&ZOOM) 志太例会 (18:30 藤枝市文化センター)
21日(木)	中遠例会 (19:00 磐田市豊田福祉センター&ZOOM) 富士例会 (19:00 ロゼシアター&ZOOM)
22日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私～」(19:00 事務局&ZOOM) 県共育委員会 (19:00 宿下吉庵)
25日(月)	三島例会 (19:00 三島商工会議所&ZOOM) 県女性経営者交流会 (13:30 事務局&ZOOM)
26日(火)	県例会企画委員会 (18:30 ZOOM)
27日(水)	伊東例会 (19:00 伊東商工会議所&ZOOM)
28日(木)	県理事会 (15:00 事務局&ZOOM)
29日(金)	第19期経営指針を創る会④ (19:00 ペガサート&ZOOM)

31日(日)	三島例会 (家族納涼会) (8:30 カップヌードルミュージアム、ガンダムファクトリーほか)
8月 2日(火)	県広報情報化委員会 (19:00 事務局&ZOOM) 県組織増強委員会 (17:30 事務局&ZOOM)
3日(水)	総務財務委員会 (16:00 事務局&ZOOM)
4日(木)	正副代表理事会 (15:00 事務局&ZOOM)
5日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川バイパス店&ZOOM)
8日(月)	県障がい者問題委員会 (18:30 事務局&ZOOM)
9日(火)	静岡例会 (19:00 未定)
10日(水)	御殿場納涼例会 (19:00 ミートショップ富士竹) 浜松例会 (19:00 未定)



《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》

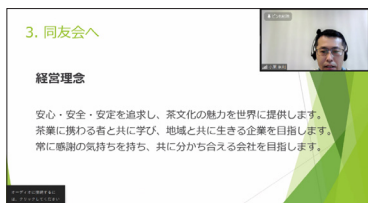
新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1055名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
たかだ こうぞう 高田 孝三	オフィスタカダ 金融商品仲介業 (資産運用コンサルティング業)	沼津	齋藤 慎吾
やまもと ゆりこ 山本由里子	プリエステス リラクゼーション (マッサージ)	沼津	藤原 博美
むらた かおり 村田 香	(株)レーヴェ 健康・美容・エステ (ホルミシス吸入ルーム・サブスクSIM代理店・リンバエステ)	浜松	江間 省豪

名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
おの みつぐ 小野 貢	沼津信用金庫 金融業 (信用金庫)	御殿場	岩田 信彦
おかだ たまみ 岡田 珠実	岡田設備 水道配管業 (給排水衛生設備工事)	静岡	岡田 剛典

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



3. 同友会へ
経営理念
安心・安全・安定を追求し、茶文化の魅力の世界に提供します。
茶業に携わる者と共に学び、地域と共に生きる企業を目指します。
常に感謝の気持ちを持ち、共に分かち合える会社を目指します。

「同友会での学びを通じて、どのように企業を成長させていきますか？」をテーマに、同友会で想いを共有できる仲間との出会いや本気本音の意見交換が自社経営の発展に繋がることと共有されました。

次回は7月22日(金)に河原崎哲哉氏(シンコーラミ工業(株)代表取締役社長/富士宮支部)が報告します。ぜひお知り合いの経営者として参加してください。

6月24日(金) 同友会会議室&ZOOM
お茶の魅力を伝えたい!
「完璧な三睡を想いをせよ」に挑戦

6月24日(金) 同友会会議室&ZOOM
お茶の魅力を伝えたい!
「完璧な三睡を想いをせよ」に挑戦

オプザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。6月は会員・オプザーバー合わせて14名が参加しました。牧之原市新庄でお茶の加工業・販売業・卸業を営む(株)小栗農園の小栗崇利氏(株)小栗農園・常務取締役が登壇。2005年に入社したのち、2015年に父から勧められて同友会に入会。しばらく参加していなかったものの、父の逝去や未来への不安、誰に相談すればよいかも分からない状況をなんとか脱却するため、たまたま手元にあった支部例会の案内を取り参加を決意。その後は県経営指針を創る会の受講など積極的に同友会を学びを活かし、社長である兄と共に100年企業を支えています。バズセッションでは「同友会での学びを通じて、どのように企業を成長させていきますか？」をテーマに、同友会で想いを共有できる仲間との出会いや本気本音の意見交換が自社経営の発展に繋がることと共有されました。